

2025年2月16日(日)第三主日礼拝

エレミヤ書30章1～24節

『見よ、その時代が来る』

**序論:**

- ①イスラエル王国が南北に分断され、それぞれに国家が滅亡し、捕囚となった原因はなんですか。
- ②エレミヤはイスラエルの民に向かって、神のさばきとともに何を語りましたか。

**本論:**

### 1. 主は苦難の時を与えられる

- ①7節の「わざわざいだ。実にその日は大いなる日、比べようもない日」とは、何を指していますか。
- ②14節の「容赦なくあなたを懲らしめた」とは、何を表していますか。
- ③神はなぜ、南ユダに苦難が襲うことを許された(与えられた)のですか。

### 2. 主はご自分の民をあわれまれる

- ①10節の「わたしのしもべヤコブよ、恐れるな」とは、何を意味していますか。
- ②主がご自分の民が苦しむ時に、どこにおられるとありますか。
- ③主はなぜ、ご自分の民を救い出される(見放されない)のですか。

### 3. 主は信じる者の神となられる

- ①主がイスラエルをあわれまるとは、具体的に何をされることですか。
- ②19節の「彼らから感謝の歌と、喜びの音が沸き上がる」とは、何を表していますか。
- ③21節の「わたしは彼を近づけ、彼は私に近づく。」とは、具体的にだれを指し示していますか。

**まとめ:**

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。